

## 事前評価調書

I 事業概要																																																											
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）																																																										
地区名	一般県道 <small>とよついでしまきはざひら</small> 豊津石巻萩平線																																																										
事業箇所	豊川市 <small>とよかわしかなざわらよう</small> 金沢町																																																										
事業のあらまし	一般県道豊津石巻萩平線は、豊川市と豊橋市を結び、通勤や通学に利用される重要な路線である。当区間の前後は、歩道が整備されているが、当区間は、歩道が整備されておらず、周辺通学路は当該区間を迂回して指定されている。う回先の市道も狭く安全性が十分に確保されていないため、早期に歩道を整備し、通学児童をはじめとした歩行者の安全の確保を図るものである。																																																										
事業目標	<b>【達成（主要）目標】</b> ①通学路の安全性確保 ②歩行者等の安全性の確保  <b>【副次目標】</b> —																																																										
事業費	事業費		内訳																																																								
	2.0 億円		<input checked="" type="checkbox"/> 工事費 0.5 億円、 <input checked="" type="checkbox"/> 用補費 1.2 億円、 <input checked="" type="checkbox"/> その他 0.3 億円																																																								
事業期間	採択予定年度	2021 年度	着工予定年度	2021 年度	完成予定年度	2027 年度																																																					
事業内容	自歩道設置 L=200m																																																										
II 評価																																																											
①事業の必要性	1) 必要性	現況道路は、前後区間に歩道があるが、当区間に歩道がない中抜けの状態である。周辺小学校の通学路は、当該区間を避けてう回しているが、う回先の市道も狭く安全性が十分確保されていないため、安全な通行空間の確保が必要である。																																																									
	判定	A	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。  <b>【理由】</b> 安全な通行空間の確保が必要である。																																																								
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">項目</th> <th colspan="6">年度</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工事区分</td> <td>調査設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="3">1.5</td> <td colspan="2">0.5</td> <td colspan="2">2.0</td> </tr> </tbody> </table>					項目		年度						合計	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	工事区分	調査設計	←→								用地補償			←→						工事						←→			事業費(億円)		1.5			0.5		2.0	
	項目		年度						合計																																																		
2021			2022	2023	2024	2025	2026	2027																																																			
工事区分	調査設計	←→																																																									
	用地補償			←→																																																							
	工事						←→																																																				
事業費(億円)		1.5			0.5		2.0																																																				
2) 地元の合意形成	地元要望があり、合意形成がなされている。																																																										
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。  <b>【理由】</b> 地元要望があり、事業執行環境は整っており、実効性が期待できるため。																																																									

Ⅲ 対応方針	
事業実施が 妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 事業実施前後の歩行者等の安全性の変化	